

松任石川・つるぎ病院だより

平成29年
新春
特別号

地域住民と協働で
住みやすい「まちづくり」を展開



公立松任石川中央病院 / 市民公開講座



公立つるぎ病院 / 病院祭

白山石川医療企業団



公立松任石川中央病院



公立つるぎ病院



市民公開講座

乳がんと糖尿病
—いま知っておきたいこと—
を開催します

特別講演

「乳がんを乗り越えて」
麻木 久仁子さん

詳しくは裏面をご覧ください

トップメッセージ ～年頭のご挨拶～



一燈を提げて
暗夜を行く
白山石川医療企業団
企業長 八木 雅夫

明けましておめでとうございます。謹んで、新春のお慶びを申し上げます。

冒頭の言葉は幕末の儒学者佐藤一斎が著した「言志晩録」の中の一文で、「暗夜を憂うることなかれ ただ一燈を頼め」と続きます。「暗夜」とは真つ暗で先の様子が把握できない状況ですから、誰もが不安を感じ、心は乱れがちになります。心が乱れると弱気になり、迷いが生じます。病氣療養中には病状が長引いて、心が弱くなる時があるかも知れませんが、そのようなときでも、白山石川医療企業団はみなさまが迷わず安心して頼むことができる「一燈」、すなわち、希望の光でありたいと願っております。

また、「一燈」とは、自分が頼りにできる唯一の灯りであり、自分の生きる一筋の道を照らす精神的支えでもあります。平成29年も、「地域に暮らす方々の生活と健康をまもる」ことを当企業団が向かうべきところを照らす「一燈」として掲げ、職員一丸となって迷うことなく医療・療養の「道」を進んでいきたいと念じております。
本年も旧年に倍するご理解とご支援をお願い申し上げます。



一歩先んじた
地域医療・
介護の推進
公立松任石川中央病院
病院長 卜部 健

新春のお慶びを申し上げます。

鶏には時代を先取りし、予知能力があるとも言われているようです。日本は未曾有のスピードで超高齢社会に突入しました。日々の医療現場においてもいろいろな変化が実感され、明日の地域医療を担うには鶏のごとく時代を先取りした取り組みが求められます。現在の社会システムは基本的には元気な成人が大半を占める社会を基準に構築されており、超高齢社会においてはうまく適合できないところが出てきているようです。この綻びが目立つてきた社会制度を改革する作業が国を挙げて推し進められています。医療介護制度の改革は重要な柱の一つであり、「地域包括ケアシステム」と称されるものです。当院はこの社会システム作りに主体的に、そして一歩先んじて取り組み、地域の医療介護の需要に応え、安全・安心な地域づくり、まちづくりに少しでも貢献できるよう職員全体で取り組んでまいります。本年もみなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。



地域包括
ケアシステムの
構築に向けて
公立つるぎ病院
病院長 杉本 尚樹

新年を迎えましてみなさまにとって幸多き年になりますようご祈念申し上げます。

白山市在宅医療連携協議会主導のもと、白山市における地域包括ケアシステム作りが本格的に始まって5年目を迎えるようとしていきます。当院は白山石川医療企業団の一員として公立松任石川中央病院、吉野谷・中宮・白峰診療所とともに一貫して白山市における地域包括ケアシステム構築に努めてまいりました。システム作りはまだ道半ばですが、市内外から一定の評価をいただけるようになってきています。しかし地域包括ケアシステムは病院だけで構築できるものではなく、行政、医療、介護の連携は当然のこととして、何よりも地域住民のみなさまのご理解とご協力のもと、互助の力を醸成することが必要です。どうかこれからも当院をはじめ白山石川医療企業団にご支援をよろしくお願い申し上げます。

わかりやすい医療・介護・健康情報の提供

～正しい知識の普及に向けて～

白山石川医療企業団では、地域住民に医療・介護の正しい知識を習得していただくため、講演会や出前講座などのイベントを定期的に開催しています。そのねらいについてご紹介します。

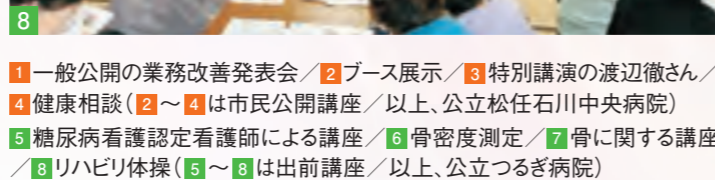
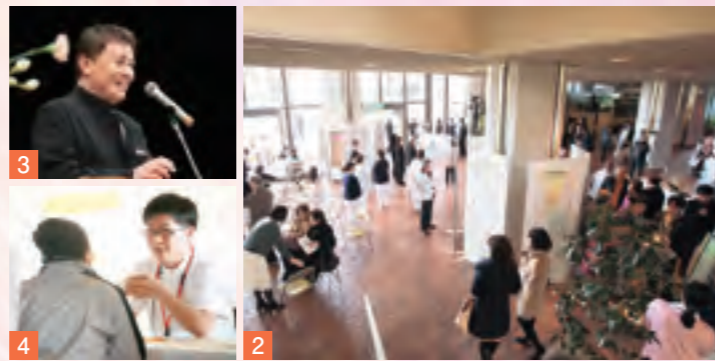
特集

近年、テレビやラジオ、新聞や雑誌などで、医療・介護・健康特集が取り上げられる機会が多く見受けられます。それにより、私たちはさまざまな情報とたくさん知識を習得できるようになり、自身の健康について見つめ直す良いきっかけとなっているのは喜ばしいことです。しかし、それらの報道内容は、時間とスペースの都合上、偏った情報となりがちで、偏見や先入観を生み出し、間違った知識を植えつける危険性もはらんでいます。

そこで当企業団では、医師や看護師をはじめ、専門スタッフによるイベントや出前講座などを定期的に開催。医療介護・健康に関する正しい知識を身につけていただくことを目指しています。公立松任石川中央病院では、年1回の大規模イベントとして「市民公開講座」を開催しています。健康相談やブース展示のほか、当院スタッフや著名人による講演会を通じ、わかりやすい情報提供を心がけています。加えて、一昨年から「業務改善発表会」を一般公開セミナーに切り替え、当院をより身近に感じていただく機会もつくつていきます。

一方、公立つるぎ病院では地元の老人会や文化祭、他の医療施設などに出向く「出前講座」を、1年を通して実施しており、繰り返しご依頼をいただくなど、好評を博しています。認知症や乳がん、高齢者の栄養管理、骨密度測定などテーマは多彩で、依頼者のご要望にこたえられるよう、日々当院スタッフは研鑽を積んでいます。また地域住民の悩みや不安の解消、近隣の医療関係者への知識の普及にも努めています。今後当企業団では、地域住民の健全な生活を支援する取り組みを展開していきます。みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

※公立松任石川中央病院主催、今年の「市民公開講座」の詳細は最終面をご覧ください



1 一般公開の業務改善発表会 / 2 ブース展示 / 3 特別講演の渡辺徹さん / 4 健康相談 (2～4) は市民公開講座 / 以上、公立松任石川中央病院 / 5 糖尿病看護認定看護師による講座 / 6 骨密度測定 / 7 骨に関する講座 / 8 リハビリ体操 (5～8) は出前講座 / 以上、公立つるぎ病院

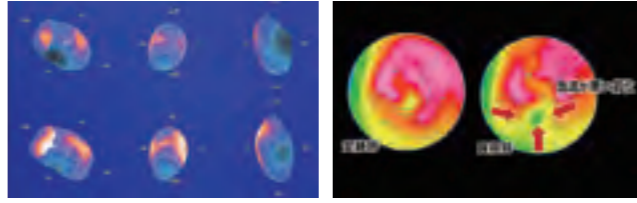
みなさまの健康な生活を支えるために①

公立松任石川中央病院の取り組み

当院は、地域の急性期医療を担う病院としての責務を果たすため、最先端の医療機器を積極的に導入しています。これは、国や県が目指す地域包括ケアシステムの構築も視野に入れての施策です。住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる「まちづくり」。それを追求する当院の取り組みをご紹介します。



日本海側初の導入となるD-SPECT(心臓専門画像診断装置)。ごく短時間で心筋の血液の流れを画像にします



D-SPECTでは鮮明な3D画像が得られ、循環器医療の質向上に役立っています



歯科口腔外科の複雑化する疾病に対応するため、歯科パノラマCTを導入

前立腺肥大症の治療に役立つグリーンライトレーザーは、術後の経過も早く、体の負担も少ない装置です



最先端の医療機器を導入
5疾病5事業への
対応が整う

地域医療支援病院、また災害拠点病院としての役割を全うするため、当院は地域住民が安心して生活できる医療提供体制を整備し続けています。

昨年は、心臓専用の画像診断装置であるD-SPECT(半導体カメラ)を導入。従来からの心臓カテーター検査と併用することで、当院の循環器医療は飛躍的に向上することになりました。その他、口や顎周辺に3D画像が得られる歯科パノラマCT、県内初導入となる前立腺肥大症に有用な装置であるグリーンライトレーザーなど、さまざまな領域に対応する医療機器も取り揃え、多様化する地域住民のニーズに広く応える体制が整いました。

また、一昨年に導入した手術支援ロボット「ダビンチ」は、昨年4月から腎部分切除術が保険適用となり、術後の痛みが少なく、早期の社会復帰を後押しするこの機器の利用が着実に増えています。加えて、PETセンターのPET/CT1台を最新式に更新。健診事業とがんの早期発見、さらには認知症の早期診断に役立つと期待されています。



患者さんやご家族の憩いの場である「患者サロン」では、定期的にイベントや教室を開催しています



手術支援ロボット「ダビンチ」は、安全で質の高い手術を可能にしています



病气や治療についての不安や悩みを受け付けるため、プライバシーに配慮した相談室を新設



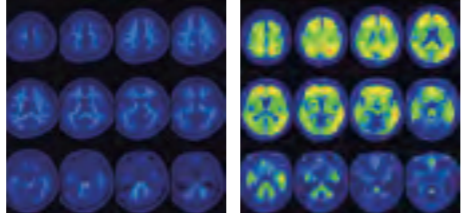
患者図書室には、医療・介護・福祉・健康に関する出版物を取り揃え、どなたでもご利用できます



地域包括福祉支援センター「おかりや」では、ショートステイの送迎も行っています



今回導入したPET/CTは、被曝線量の低減、高解像度の画像取得という特長があります



PET/CTによる高解像度の画像診断は、認知症の早期発見にも一役買っています(左:健康な脳/右:アルツハイマー型認知症の脳)

医療・介護一体型のサービスで
住みやすい
まちづくりを実現

これらの医療機器の導入と活用により、国の目指す5疾病(がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患)5事業(救急・災害・へき地・周産期・小児)を提供する医療環境が、より一層整うことになりました。

一方、医療や予防だけではなく、介護を提供する環境も整えています。地域包括福祉支援センター「おかりや」です。当院に隣接するこの施設は、サービス付き高齢者向け住宅をはじめ、地域密着型特別養護老人ホーム、ショートステイなどの機能を併せ持つ複合型の福祉施設で、病院併設だからこそ成し得る、医療・介護一体型のサービスを受けることができます。

また、近隣の医療機関との連携を推進するため、「まっとう連携くん」というシステムを運用。当院が保有する高度医療機器を共同利用し、限られた医療資源を有効活用する取り組みも展開しています。当院は住みやすく暮らしやすい「まちづくり」を実現するため、引き続き改革を進めていきます。

みなさまの健康な生活を支えるために②

公立つるぎ病院の取り組み

当院は、へき地医療拠点病院、また在宅療養支援病院として、地域密着型の医療・介護サービスの提供に努めています。その背景には、地域包括ケアシステムの構築という大きな目標が掲げられており、近年、そのサービス内容は地域住民のニーズに合わせることで多様化してきました。その概要をご紹介します。



マンモグラフィ検診を担当する診療放射線技師は、質の高い乳がん検診の提供はもちろんのこと、地域や職場に出向き乳がんに関する出前講座を開催しています



担当職員はオリジナルの乳がん検診に関するパンフレットなども作成し、乳がん検診の大切さを広めています(当院ホームページ「乳がん検診のご紹介」内にてダウンロードできます)



新しく導入した、移動型デジタル式汎用エックス線透視診断装置



講演会場では模型で乳がんのシコリを体験できます



当院のマンモグラフィ装置



集団リハビリでは生活動作練習、体操・動作をおこない、日中の活動時間を増やします



認知症支援チームでは、多職種で病棟の定期巡回をおこなっています



認知症看護認定看護師などが講師となり、病棟の定期巡回の結果をふまえて職員向けの研修を開催。認知症に対する知識向上にも努めています



「認知症カフェ」では地域住民のご協力を得て、認知機能の改善を目指し回想法として、鶴来地区の写真を展示



「病院祭2016」にて実施した「認知症カフェ」では、認知症相談のほか、お茶を飲みながら、気軽に話しかけることができる場を設けました



「病院祭2016」では、地域の園児達が歌とダンスで会場を盛り上げてくれました



鶴来消防署のご協力のもと、病院祭で初めて実施した「化学消防車・救急車見学会」には、多くの親子連れが訪れていました

乳がん予防、医療機器整備、集団リハビリなどで安心して暮らせる生活を支援

日本人女性の12人に1人が乳がんにかかるといわれている現代社会。乳がんは早期に発見し、早期に治療をおこなえば95%以上の確率で治る病気と言われています。そこで重要なカギとなる乳がん検診について、当院では様々な啓蒙活動をおこなっています。また、今年度、「マンモグラフィ検診施設画像認定」をA評価で更新するなど、質の高い乳がん検診が提供できる体制も整えています。

医療機器においては、移動型デジタル式汎用エックス線透視診断装置を1台増設。リアルタイムに鮮明な画像を見ながら、迅速な手術が可能となり、より安全性が高く、高度な医療提供をおこなえるようになりました。

一方、退院後の生活に向けて、地域包括ケア病棟では集団リハビリを実施しています。入院患者さん同士が集団でリハビリをおこなうことで、自主性やコミュニケーション能力の向上を図っています。

当院と地域の協働による認知症支援体制の整備と病院祭の開催

当院では、認知症患者さんが安心して療養生活をおくれるように、「認知症支援チーム」を結成して活動しています。入院患者さんの日々の療養環境を確認し整備するとともに、退院後も自宅で安心して暮らせることを目指しています。さらには、地域住民に向けて「認知症カフェ」を「公立つるぎ病院祭2016」にてプレオープンしました。地域の方々との交流の場を持つことで、認知症に関する知識を普及し、地域とともに認知症の方を支援する体制を築き上げてまいります。

「公立つるぎ病院祭2016」では職員手作りの模擬店コーナー等のほか、近隣の町内会、地元の商店や消防署、企業、学校等にご協力いただき、地元特産品や和菓子、クレープの販売、和太鼓、ライブ演奏、ロボット触れ合い体験、美術作品展示、ピラティス教室など今までにない内容で開催することができました。多くの方々と協働することで、当院の規模に対して1,000人以上と多くの方に会場いただき、大盛況のうちには病院祭を開催することができました。

当院では今後も、地域の方々が安心して日々の生活をおくれるよう、地域の方々とともにさまざまな取り組みを進めていきます。

特集

安心して暮らせる “まちづくり”に向けて

～地域包括ケアシステムの実現へ～

2025年には、約800万人の団塊の世代が75歳以上となり、今まで以上に医療・介護サービスの需要が発生することが予測されています。そのためにも、当企業団は地域包括ケアの実現に向けて、さらなるサービス内容の充実と資質向上に取り組んでいきます。

き高齢者向け住宅があり、介護から住まいまでをトータル的にフォローする複合型福祉施設として注目を集めています。

このように、企業団内での機能分化は着々と進んでいます。企業団だけでは十分な医療・介護サービスを提供し切れない面もあります。そこで、地域の医療機関や介護事業所との連携にも注力しています。

地域医療ネットワークシステムである「まっとう連携くん」は、近隣の医療機関と電子カルテを共有し、公立松任石川中央病院が持つ高度医療機器を共同利用できる仕組みになっています。このシステムをベースに、「いしかわ診療情報共有ネットワーク」が生まれ、石川県全域をカバーする大きなシステムにまで発展しています。同様に、地域の介護事業所とも連携を深め、企業団が提供する介護サービスを利用できる流れを構築しています。

今、国は医療・介護分野における重点施策として「地域包括ケアシステム」の構築を掲げています。これは、住み慣れた地域で、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される“まち”を創り上げていこうとする取り組みです。その実現に向けて、白山石川医療企業団ではその仕組みづくりに着手。安心して暮らすことのできる“まちづくり”を推し進めています。



出典：板橋区／三菱UFJリサーチ&コンサルティング

当企業団は現在、2病院・3診療所を運営しており、それぞれの特长を活かした機能分化を進めています。

まず、医療分野において、公立松任石川中央病院が急性期医療や予防医学などを担当。手術支援ロボット「ダヴィンチ」やPET/CTに代表される最先端の医療設備を配備し、高度な医療サービスを提供しています。また、公立つるぎ病院は従来からリハビリテーションを強化してきた背景を活かし、地域包括ケア病棟を配置。急性期病院や介護施設・住まいから患者さんを受け入れ、早期の在宅復帰を目指しています。加えて、吉野谷中宮・白峰診療所は無医地区におけるへき地診療を展開。外来と訪問診療・往診を通じて、通院が困難な患者さんや在宅復帰後の生活が不安な方をサポートしています。

一方、介護分野においては、公立つるぎ病院敷地内にある通所リハビリテーションセンターが、リハビリ活動を通じて「やりたいことができる」に変える支援を展開しています。また、公立松任石川中央病院に隣接する地域包括福祉支援センター「おかりや」には、地域密着型特別養護老人ホームをはじめ、ショートステイ、サービス付

病院から施設、施設から在宅へ

～住み慣れた地域で安心して暮らせる“まちづくり”～



白山石川医療企業団
基本理念

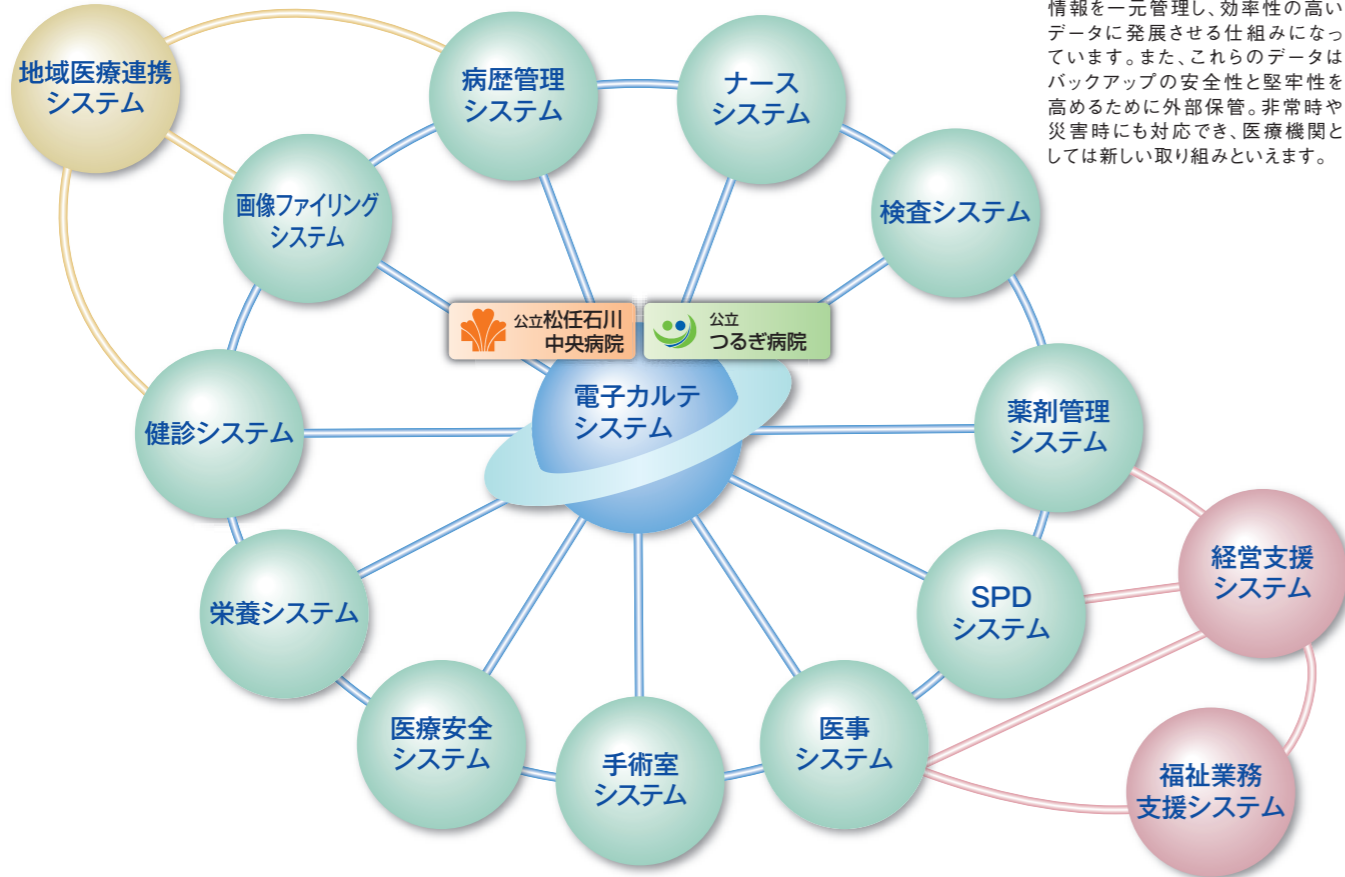
私たちは、みなさまの健康な生活を支えるために

- 期待にこたえられる良質な医療に努めます
- 安心・安全で信頼される医療に努めます
- 切れ目のない包括的な医療に努めます

医療情報ネットワーク

外部保管システム

当企業団の電子カルテシステムは、各部門から上がってくる診療情報を一元管理し、効率性の高いデータに発展させる仕組みになっています。また、これらのデータはバックアップの安全性と堅牢性を高めるために外部保管。非常時や災害時にも対応でき、医療機関としては新しい取り組みといえます。



企業団連携医療機関一覧

| | | |
|------------------|-----------------|----------------|
| 浅井小児科医院 | 下崎整形外科医院 | ののいち白山醫院 |
| あさがおクリニック | しらお眼科 | 野々市よこみやクリニック |
| 有川整形外科医院 | 新くりにつく | はしもと内科クリニック |
| 池田病院 | 新内科医院 | ばんどう内科診療所 |
| いこまともみレディースクリニック | 新村病院 | 深江レディースクリニック |
| いのち内科医院 | すえよし整形外科クリニック | 福留クリニック |
| 今村耳鼻咽喉科医院 | せいだクリニック | 船木医院 |
| 井村内科医院 | 聖来美クリニック | ふるさわ内科クリニック |
| ういえ耳鼻咽喉科クリニック | だいもん内科・腎透析クリニック | べんクリニック |
| うえの整形外科 | 多賀クリニック | ほりかわクリニック |
| うしむら眼科クリニック | 高田内科クリニック | 松任整形外科クリニック |
| 岡村内科医院 | たけお皮膚科クリニック | 松葉外科胃腸科クリニック |
| 御経塚クリニック | ただなわ整形外科クリニック | 南ヶ丘病院 |
| 織田内科クリニック | 谷内科歯科クリニック | みやうち眼科 |
| 小野木医院 | ちくだ医院 | 三幸小児科医院 |
| 金沢脳神経外科病院 | 千代野苑 | むとう小児科医院 |
| かわい小児科医院 | つじ川内科クリニック | メディカルらいふクリニック |
| 川北温泉クリニック | 津田内科医院 | 森 明弘クリニック |
| 川北こどもクリニック | 津山クリニック | 矢ヶ崎外科医院 |
| かわきた整形外科醫院 | てらしま内科クリニック | 安原医院 |
| 河内うらた医院 | ときわ病院 | やなぎ内科クリニック |
| 喜多内科医院 | とみたクリニック | やまかわ内科クリニック |
| 北村内科医院 | 長尾医院 | やまぎしレディースクリニック |
| 恵愛会 松南病院 | ながしまクリニック | 山本クリニック |
| 斉藤小児科医院 | なかでクリニック | やまもと内科医院 |
| さかえ内科クリニック | 中村皮フ科クリニック | 吉光内科医院 |
| 真田医院 | なごみ苑 | 米田内科医院 |
| さなだクリニック | なんぶこども医院 | わかば内科クリニック |
| サン問屋町クリニック | にしかわクリニック | 若林眼科 |
| しおのやクリニック | 野々市こころのクリニック | 渡辺耳鼻咽喉科医院 |
| 嶋医院 | ののいち産婦人科クリニック | |

(50音順)

公立松任石川中央病院

TEL:(076)275-2222 / FAX:(076)274-5974



- 住 所 石川県白山市倉光三丁目8番地
- アクセス JR松任駅からバスが運行されています

地域包括福祉支援センター
おかりや

地域密着型特別養護老人ホーム
ショートステイ
サービス付き高齢者向け住宅
TEL:(076)274-2000
FAX:(076)274-2151



公立つるぎ病院

TEL:(076)272-1250 / FAX:(076)272-3144



- 住 所 石川県白山市鶴来水戸町ノ1番地
- アクセス ・加賀産業道路「安養寺北」交差点より国道157号を白峰方向へ10分
・北陸鉄道石川線「鶴来駅」徒歩10分

吉野谷診療所



中宮診療所



白峰診療所



乳がんと糖尿病

— いま知っておきたいこと —

今回の市民公開講座は、乳がんと糖尿病についての健康相談と講演会、特に乳がんについては「医療者側」「患者側」の2つの立場からの講演会を開催し、正しい知識と早期発見、予防方法について一緒に考えてみたいと思います。ぜひ、ご来場ください。

日時 平成29年 **3月4日** 土
11:30~16:00

入場
無料

会場 **松任文化会館** 白山市古城町2



特別講演 麻木 久仁子さん(タレント)

プログラム

健康相談 11:30~13:30 乳がんの自己検診体験、がんと糖尿病に関する相談・パネル展示

講演会 13:30~16:00

講演1 白山市の糖尿病重症化予防について

白山市健康福祉部健康増進課 古木 雅世 専門員(保健師)

講演2 白山市がん検診の取り組みについて

白山市健康福祉部健康増進課 竹内 映子 専門員(保健師)

講演3 乳がんの診断・治療について

公立松任石川中央病院 石井 要 外科医長

特別講演 15:00~15:50 麻木 久仁子さん(タレント)

乳がんを乗り越えて

司会業やクイズ番組などで人気を博し、私たちに元気を与えてくれる麻木久仁子さん。そんな麻木さんも数年前に乳がんを患い、患部摘出手術を受けています。今回は、乳がんを患った実体験をもとに、発見から治療に至るまでの経緯、また早期発見の大切さなどについて、エピソードを交えながら講演いただきます。

無料シャトルバス運行 11:00~16:50 公立松任石川中央病院(正面玄関前) ⇄ 会場

※会場および周辺駐車場は混雑が予想されます。公共交通機関またはシャトルバスをご利用ください。



主催:公立松任石川中央病院 共催:白山市

お問い合わせ

公立松任石川中央病院 総務課 TEL.076-275-2222(代)